

平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

1. 施設の概要

施設名	三楽園	所管課	高齢福祉課
所在地	岐阜市北野東827番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	4,329,000円 /年		
施設の設置目的	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、三楽園を設置する。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建て ◇敷地面積:349.40㎡ ◇延べ床面積:184.92㎡ ◇開館:昭和59年4月 ◇施設内容:集会室、生活相談室、教養娯楽室、健康相談室、湯沸室、事務室等		

2. 利用状況

	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)	1,836	1,995	1,827	1,915	1,794
各室利用 人数(人)					

3. 業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市老人福祉センター条例施行規則第2条のとおり履行 ②所長・非常勤3人・看護師(1日/月)を配置 ③広報ぎふ及び施設内掲示板を利用 ④ご意見箱の設置。苦情については、「岐阜市社会福祉事業団苦情解決に関する事業実施要綱」により、施設長を苦情解決責任者として第三者委員と協力して解決にあたる仕組みをとっている。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①夜間警備業務 ②清掃業務 ③防災機器保守点検 ④浄化槽維持管理業務	①夜間警備業務(警備機器による警備) ②清掃業務(年3回、下半期11/30、3/29実施) ③防災機器保守点検(年2回、下半期2/20実施) ④浄化槽維持監理業務(浄化槽法定検査 10/20実施)(年6回、下半期11/8、1/30、3/20実施)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	特に無し
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	・岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程の遵守 ・緊急時対応マニュアルに沿って対応する仕組みをとっている。 ・消防訓練の実施(年2回、下半期2/5実施) ・講座申込書に「利用者家族への緊急連絡先」を記入

4. 利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月開催の講座、サークル、オープン利用利用者に対してアンケートを配布し、回収箱を設置して回収した。 ・アンケートの質問項目は、職員の対応、施設や設備、講座の内容、全体的な満足度とした。 ・実施期間：2月2日～2月21日
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○回収総数 67枚（男5人、女62人）</p> <p>○性別及び年齢 男 60～64歳 0人 65～69歳 0人 70～74歳 0人 75～79歳 3人 80～84歳 2人 85～89歳 0人 90歳以上 0人 女 60～64歳 3人 65～69歳 19人 70～74歳 20人 75～79歳 15人 80～84歳 5人 85～89歳 0人 90歳以上 0人</p> <p>①「職員の対応」 満足84% やや満足 16% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>②「施設の管理」 満足63% やや満足37% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>③「講座の内容」 満足88% やや満足12% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>④「サークルの内容」 満足93% やや満足 7% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>⑤「オープン利用囲碁利用者」 満足67% やや満足33% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>⑥「全体満足度」 満足88% やや満足12% やや不満 0% 不満 0%</p> <p>(主な意見)</p> <p>○職員対応：いつも親切・丁寧で安心。(多数) いつも笑顔で声かけ・対応が良い。心遣いがある。誠実。挨拶が気持ちいい。感じが良い。いつも細かい配慮がなされている。優しくて明るい対応。</p> <p>○施設・設備：トイレがいつもきれいで嬉しい。安心して利用できる。(1人) 畳が古い、また暗い。(各1人) 駐車場：車の置き場が少ない。(4人)</p> <p>○講座：先生の教え方が上手。(童謡) 楽しく、和やかで良い。(童謡、茶道)</p> <p>○その他：施設が歩いて来られる位置ですと助かる。(1人) クラフト、健康マージャン、楽器演奏、文芸の講座を希望。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>要望等は、講座やサークル等の開催時それぞれ回収し分別集計しているため、当該意見のあった講座等の開催時に、説明している。</p> <p>(主な意見と対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の拡充の要望が多く、②施設の管理でのやや不満についても駐車スペースの確保であったが、駐車場用地の確保が困難な状況である。 ・健康維持・清潔保持のため、トイレの洋式化・湯洗浄化への改善が望まれている。意見については、施設所管部署へ報告する。 ・新規講座 → 要望については、講座を開催するほどの需要があるのか検討している。

5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ぎふ」の他、ホームページ、施設内の掲示板を活用。 ・講座受講生は定員を超えた場合、第三者立会いのもとで抽選し、抽選にもれた方にはサークルを紹介する。 ・「御意見箱」を設置し、利用者の声を把握。 	A	A	A
		情報公開、広報の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が定めた「情報公開規定」に基づき対応。 ・「広報ぎふ」、ホームページ等多様な手段で情報提供。 	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	<ul style="list-style-type: none"> ・「御意見箱」を常設するとともに、日々の業務を通じたニーズ把握。 ・指定管理者が定めた「苦情解決に関する事業実施要綱」に基づき対応。 	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等により、接客技術の向上を図る。 ・施設の点検など、快適な環境に努める。 	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ぎふ」、ホームページ、施設内の掲示板等、多様な手段で広報。 ・講座・サークル活動の充実を図る。 	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に利用者アンケート調査を実施。 	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	<ul style="list-style-type: none"> ・経験のある職員を配置し、スタッフの機動的な対応を図る。 	A	A	A
		区分評価				

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・運営管理している他施設との一括発注及び指定管理期間を超えない複数年契約による経費削減。 ・利用者サービスを低下させない範囲内での節水・節電等による光熱水費等の縮減。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・サービスを低下させないように、効率的に職員を配置。	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生/破産手続き開始の申立てをしていない。 ・市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・過去に高齢者福祉等の仕事に携わった経験のある人材を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・研修等により人材の育成を図る。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・指定管理者が作成した「危機管理マニュアル」、「地震防災マニュアル」等に基づき対応。	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・地元の法人その他の団体に業務の一部を委託。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・施設周辺の日常清掃の実施など地域環境美化へ積極的に取り組む。	A	A	A
		地元団体との連携、地元住民等との交流(世代間交流など)	・地元自治会、地域包括支援センター、市民健康センター・ふれあい保健センター等との連携を図る。 ・地元住民との交流を図り、地域福祉の向上に努める。	A	A	A
		区分評価			A	

6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>【努力した点】</p> <p>・2月に実施したアンケートにも表れていますが、常に心掛けている利用者への声かけに良い評価をいただいている。</p> <p>【反省点】</p> <p>・駐車場の拡充についての要望が寄せられているが、引き続き施設利用者へ丁寧な説明を心掛け、ご理解をしていただくよう努めます。</p> <p>【自己評価】</p> <p>利用者は高齢者が多いため、できる限り一人一人に声をかけ、健康状況を確認するよう努めている。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>高齢者の利用が多い施設のため、施設利用者の入退出時に引き続き声かけを行い、利用者が安心して施設を利用していただけよう配慮している。</p>
今後の取組み	<p>本年10月27日開催して好評だった「防犯教室」の開催を次年度も計画している。(防犯教室は、岐阜北署地域生活安全アドバイザーにお願いした。)</p>

7. 所管課の意見

広報に関して、市発行の「広報ぎふ」に掲載するとともに、ホームページでの紹介、校区公民館やコミュニティセンターなどにチラシを配布し、利用者の拡大を図っている。

講座・サークル活動の成果発表の機会として、作品展・舞台出演・茶道を披露するなど、三輪北地域の文化祭に積極的に参加した。地元自治会、地域ふれあい保健センターと連携して、地域住民及び利用者を対象に「健康教室」を開催し、健康維持・意識の啓発に努めている。

また、岐阜市社会福祉協議会関係のボランティア紹介コーナーを設置するなど、地域ボランティアの啓発活動にも協力している。今後も、地元団体との連携を密にして、事業運営に取り組まれない。

8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の評価のとおり、認める。

施設間での情報交換を行い、利用者ニーズの把握に努めるとともに、適切な施設の管理運営に取り組まれない。